

10 月暦(予定)

12 日 (月) スポーツの日 (休園)

15 日 (木) お弁当会

17 日 (土) アフリカの演奏会
職務会 (PM)

22 日 (木) 尿検査

23 日 (金) 尿検査

29 日 (木) ハロウィン

★防火・消火避難訓練

11 月暦(予定)

3 日(火) 文化の日 (休園)

14 日(土) うんどうあそびの会 (全クラス)
職務会 (PM)

19 日(木) お弁当会

23 日(月) 勤労感謝の日

※行事は諸事情により、変動する可能性があります。

★防火・消火避難訓練

スイミングスクール

(3 歳児以上の希望者)

スイミングスクールと保護者との直接契約です。

※希望者は保育士へ問い合わせして下さい。

9 日(金)、16 日(金)、23 日(金)、30 日(金)

お知らせ

- ・29 日はハロウィンパーティーです。
詳細は後日お知らせいたします。
- ・ピクニック兼運動会に関しましては後日お知らせ
いたします。

HAPPY BIRTHDAY

個人情報の為、削除いたします。



10月

知念みね子

子どもたちの「未来」のために、大人が「今」できること

子どもたちが大人になる頃、世の中はどんなふうになっているのでしょうか。AIの技術はさらに進み、今では想像もできないようなことができるようになっていくかもしれません。また、世界では今も争いが続いています。私たち大人は、子どもたちが将来困らないように、「今のうちから、いろいろな力を身につけてほしい」と考えることがあります。

でも、子どもたちにとって本当に大切なのは、子どもたちが「今」をしっかり生きること。その一日一日が、未来につながっていく。そんなふうに思います。



「自分は大切な存在なんだ」と感じることに

子どもがこれから人と関わりながら生きていくために、まず大切なのは、「自分は大切な存在なんだ」と感じられることです。泣いたときに誰かがそばに来てくれる。うれしいときに一緒に喜んでくれる。困ったときには助けてもらえる。そんな日々の積み重ねの中で、「自分はここにいていい」「自分の気持ちを出しても大丈夫」という安心が少しずつ育っていきます。

もちろん、何でも自分の思い通りになるということではありません。「それはしてはいけないよ」と伝えないといけないこともあります。

それでも、泣いたり、怒ったり、嫌だと言ったりしたときに、その気持ちを受け止めてもらえる。「あなたはあなたのままで、大切な存在だよ」そんなふうに感じられることが、子どもの安心につながっていきます。

保育所保育指針の解説でも、子どもの気持ちや欲求を受け止め、温かく関わることによって、「自分を肯定する気持ち」が育ち、自分がかげがえのない存在であり、愛されていると感じることが、人と関わって生きていくための基盤になるとされています。



「自分も大切。相手も大切」

人と一緒に生きていく中では、もう一つ大切なことがあります。

それは、**自分と相手は、同じではない**ということです。

「私はこうしたい」と思うことがあるように、「あなたはそうしたいんだね」と、相手にも相手の思いがあることに気付く。もちろん、いつも相手に合わせる必要はありません。自分の気持ちを大切にすることを、優先していいのです。

一方で、相手の思いを知ったことで、「そういう考え方もあるんだ」と気付いたり、「私は本当はどうしたいんだろう」と、自分のことを考え直したりすることもあります。同じ気持ちになる必要も、必ず答えを一つにする必要もないのでしょう。

違っていても、それぞれの思いを持ったまま、一緒にいられる。

そのために言葉を交わしたり、考えたりする。

そんなところから、「対話」はうまれるのだと思います。

子どもたちは、毎日の中で「対話」を経験している

子どもたちの遊びを見ていると、「僕はこれがしたい」「私はこっちがいい」と、それぞれの思いを出す姿があります。

ときには思いがぶつかり、泣いたり、怒ったりすることもあります。

そんな経験を重ねながら、子どもたちは、「自分にも思いがある」「相手にも思いがある」ということを少しずつ知っていきます。

「どうしたら一緒に遊べるかな」と考えることもあれば、「私はやっぱりこれがしたい」と、自分の思いを確かめることもあります。

保育所保育指針にも、
「自分の思ったことを相手に伝え、
相手の思っていることに気付く」
ということが、人との関わりの中で
大切な経験として示されています。



対話というと、「上手に話すこと」のように思われるかもしれませんが。

でも、相手に合わせるために自分の思いをなくすことでも、相手を自分の思い通りにすることでもないのです。。「自分も大切。相手も大切。」

自分と違う誰かと出会い、考えたり、迷ったり、時にはぶつかったりする。

そんな経験の一つひとつが、人と一緒に生きていくことに繋がっていくように思います。

自分を育てるのは、自分。でも……

「自分らしく生きる」という言葉がありますね。自分の人生を生きるのは、自分自身です。けれど、自分一人だけで自分のことを知るのは、案外難しいものです。

誰かと出会うことで、「私はこれが好きなんだ」「これは嫌なんだ」「私はこう思っていたんだ」と、自分のことに気付くことがあります。

自分とは違う考えに出会って、「そんな考え方もあるんだ」と知ることもあります。時には、誰かとぶつかったことで、自分の考えを見つめ直すこともあります。人との関わりの中で、自分を知り、自分の考えを深めていく。

自分が育っていくのは、自分自身の仕事。でも、そのためには他者も必要なのだと思います。その他者とのかかわりを通して、最後に自分の心が決めるのです。

子どもたちの「今」を大切にする

これから先、どんな未来が待っているのか、私たち大人にも分かりません。だからこそ、未来のために今を急がせるのではなく、子どもたちの「今」を大切にする。

思いきり遊ぶこと。友達と笑うこと。けんかをする事。失敗すること。「自分でやりたい」と挑戦すること。「嫌だ」と自分の気持ちを表すこと。

そうした一つひとつの経験は、「未来のための練習」ではありません。それは、子どもたちにとっての大切な「今」であり、かけがえのない子ども時代そのものです。

そして、その「今」をしっかり生きた経験が、これから先の子どもたちを支えていくのかもしれない。



子ども時代の「あなた」が、未来のあなたを支える

風のうたのある保育士が、学生時代に石井桃子さんの詩に出会いました。すごく感動したそうです。保育士になるという夢がまた、膨らんだそうです。

子どもたちよ 子ども時代を しっかりと たのしんでください。

おとなになってから 老人になってから あなたを支えてくれるのは

子ども時代の「あなた」です。

石井桃子さんは、H13年7月18日、杉並区立中央図書館で開かれた「石井桃子展」に寄せた色紙に、こんな言葉を残しています。

子どもたちの「今」は、未来のための準備期間ではないのです。
今、この瞬間を生きることそのものが、子ども時代です。

私たち大人ができることは、未来を先取りして、子どもたちにたくさんのことを教えることだけではありません。

今日、子どもの話を聴くこと。今日、子どもの「嫌だ」という気持ちを受け止めること。

今日、失敗しても大丈夫と思える場所をつくること。

今日、友達とぶつかりながらも、それぞれの思いを持って一緒に過ごす経験を大切にすること。

そして、子どもたちが自分の「今」を、自分のものとして生きていけるように、そばにすること。

その一日一日が、子どもたちの「未来」につながっていく。

そんなふうに、子どもたちの「今」を一緒に見つめていけたらと思います。



ひよこ・うさぎ組 クラスだより

10月の目標

🐣 ひよこ 🐣

★生活や遊びの中で保育者のすることに興味を持ったり、模倣したりすることを楽しむ。

★安全で活動しやすい環境の中での探索活動等を通して、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の動きを豊かにする。

🐰 うさぎ 🐰

★走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど、全身を使う遊びを楽しむ。

★保育者の仲立ちにより、他の子どもとの関りを少しずつ身に付ける。

🌸 お願い 🌸

☆汚れてもいい服での登園をお願いします。

☆登降園の際には、帽子を被りましょう。

☆日頃から爪がのびていないか確認をお願いします。

☆洋服やタオル、紙パンツなど持ち物にはすべて名前を記入して下さい。

☆子どもでも着脱しやすい洋服(ワンサイズ大きめ)を持たせて下さい。

☆履きやすい靴での登園、お願いします。



あそびは生きる力そのもの

子どもは今、自分が伸びようとする力を感じ取り、それを遊びの中で何度も繰り返して着実に獲得します。あそびによって子どもは様々な力を身に付けるのです。

2 か月～6か月未満のあおむけで過ごす赤ちゃんは、人の顔を見たり、おもちゃを見たり、手足を動かしたりしながら、少しずつ自分の体を動かすことを覚えていきます。歩けるようになると、歩く、走る、登る、触るなど、全身と五感を使って遊ぶ中で、自分の体を思うように動かす力も育っていきます。



子どもたちはあそびでこんな力を獲得しています

体力・運動能力・想像力・忍耐力・柔軟性・生活能力・器用さ・ルールを守る力など、机の前に座った勉強だけでは獲得できない能力を、子どもは「あそび」の中で獲得します。さらに遊びの中では、さまざまな力が育っていきます。

あそびは、子どもが楽しみながら、自分の力を伸ばしていく大切な時間です。

「やってみたい」と思ったことを自分で試し、何度も挑戦する中で、意欲や自分から行動する力が育ちます。友だちや大人と関わり、まねをしたり、言葉を交わしたりする中では、人と関わる力や言葉も育っていきます。



「できた！」という経験は、「自分にもできる」という自信や達成感につながります。また、好きな遊びに夢中になることは、気持ちを落ち着けたり、自分の気持ちを整えたりすることにもつながります。

あそびの中では、物の形や大きさ、重さ、数などに触れながら、「どうしたらうまくいくかな？」と考えます。「こうしたら、こうなった」という経験を重ねることで、考える力も育っていきます。



※高山静子著『子育て支援ひだまり通信』参照

あそびには正解がありません。あそびのルールは状況に合わせて柔軟に変えることができます。あそびの中では、どの子もおなじように失敗を経験します。幼児期に柔軟でたくましい心を身につけた子ども達は、苦労や挫折を軽々と乗り越えていけるでしょう。

((活動の様子))



運動あそび



屋上



水あそび



オオゴマダラのさなぎ観察



エイサー



園庭



🍱 お弁当会 🍱



お弁当作り、ありがとうございます。



かんがる一組クラスだより

今月の目標

- ・遊具や用具などを貸したり借りたり、順番を待ったり交代したりする。
- ・保育者や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。

☆おねがい☆

- ・日曜日は爪切りデー
- ・帽子をかぶって登降園の習慣をつけましょう

戸外に出る際に帽子が無くて困っている姿が見られます。

お家を出る前に一緒にご確認お願いします。

- ・朝9時までに登園しよう！

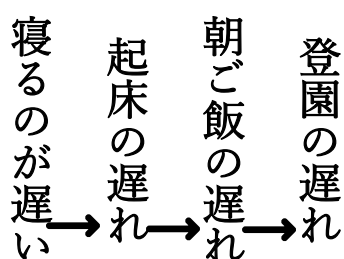
朝のお集りは9時を目途に始まります。

今日の活動や日にち確認など子どもたちが1日を始めるにあたって大事な時間です。

みんなで参加できるように9時までに登園をお願いします。

今月は生活リズムのお話をします。

規則正しい生活リズムが子どもの意欲や学力、体力の向上、情緒の安定につながります。



寝る時間が遅いと起きるのが遅くなり、その後の生活リズムにずれが生じてきます。朝ご飯が取れないことや睡眠の乱れが園での活動時に体がうまく動けない(体力低下、自律神経の低下、体温リズムの乱れ)等に繋がってきます。

生活リズムは一つ良くなると他も良くなります。その逆もあるのです。

たべてうごいて

よくねよう



朝ご飯は一日のエネルギー源であり、体温を上げてウォーミングアップをさせてくれます。体温が上がると午前中に体を動かしやすくしっかりと活動ができます。



友達と一緒に遊んだり、運動したりすると、お腹がすいて食が進みます。また、昼間の心地よい疲れで夜はぐっすり眠る事が出来ます。



決まった時刻に寝床に入るために、早めに夕食をとるようにしましょう。

「寝る子は育つ」・・・寝ている間に、成長ホルモンが分泌され、子どものからだと脳が成長します。

ポイント

- ・眠る時間が遅くなっても朝は決まった時間に起こす。
- ・光刺激を受けると朝起きられるようになります。外の光を取り入れて起きよう。
- ・帰りが遅いパパ、ママは朝ふれあい遊びをしよう。夜に運動すると体温が上がり眠れなくなるよ。
- ・朝食を食べ、体温を上げてウォーミングアップしよう。

幼児期は十時間眠れる生理的欲求があります。小学校低学年までは遅くとも夜 9 時までには寝かせるのが理想です。また、脳の研究では朝起きて二時間程度のウォーキングが必要と言われています。朝は早く起きて、ゆとりをもつことが大切です。

早稲田大学 人間科学学術院 前橋 明 研究所 資料参照



この時期は偏食があったり、寝つきに時間がかかったりいろいろな大変だと思います。無理なく、その子、各家庭にあったスタイルで生活リズムを整えていけるといいですね！

🐻 らいおん・🌀 くじら・🌈 にじ組クラスだより

とうもろこしから広がった「やってみたい！」

スーさんこと鈴木理事長からとうもろこしをいただいたことをきっかけに、「とうもろこしってどんなものだろう？」とみんなでとうもろこしを研究してみることにしました。



まずは、「とうもろこしってどんな食べ物？」という図鑑を、みんなで読んでみました。「とうもろこしには、いろいろな種類があること」や、「一房に 600 粒くらいの実がついていること」など、知らなかったことがたくさん！
子どもたちは、「知らなかったあー！」と驚いたり、図鑑をじっくり見たりしながら、とうもろこしのことを知っていました。



そして、とうもろこしは、そのまま食べるだけではなく、ポップコーンになったり、粉にしたりして、いろいろな形でおいしく食べられていることも知りました。

さあ！！さっそく、とうもろこしの皮むきです。「結構かた〜い」「むけな〜い」

思っていたよりも皮がかたく、子どもたちは悪戦苦闘しながら、一枚一枚むいていきました（笑）。皮をむき終わったとうもろこしは、茹でてもらって、みんなでいただきました。「あまーい！」「とうもろこし、おいしいね♪」

自分たちで皮をむいたとうもろこしを味わい、子どもたちは嬉しそうな笑顔を見せていました

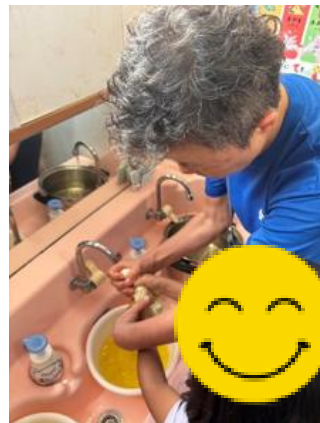
「でてこい でてこい とうもろこし」の絵本も読みました子ども達は、まるでとうもろこし畑に入り込んだように真剣な表情で聞き入っていました。絵本を通して、とうもろこしのことをもっと知りたくなったようでした♪



実は子どもたちは以前から、玉ねぎの皮を使って染め物をしようと、ご家庭にも「玉ねぎの皮が出たら園に持ってきてね!」とお願いし、みんなで集めていました。そんな中、「とうもろこしの葉（皮）で何か作ろう!」と話していると、

「何ができるの〜?ポップコーン?」「とうもろこしの皮で何か染めたりできないかな〜?」と、子どもからこんな声が出てきました。

改めて図鑑を調べてみると、「どうやらできるみたい!」ということで、とうもろこし染めに挑戦することになりました😊



残った皮も、もうひと工夫♪

染め物をした後に残ったとうもろこしの皮を見て、「これでも何かできないかな？」と考えました。

以前、牛乳パックから紙を作った経験を思い出し、先生から「とうもろこしの皮でも紙すきができるかな？」と提案。

さっそくミキサーで皮を細かくして、紙すきに挑戦しました！

できあがった紙は、敬老の日のプレゼントの「しおり」にしました♪



玉ねぎでも染めてみよう！

とうもろこし染めは薄い黄色でしたが、以前から集めていた玉ねぎの皮も「染めてみよう！」と、玉ねぎ染めにも挑戦することになりました

とうもろこしと玉ねぎ、どちらも皮を使って染め、できあがった色の違いもみんなで見ました

この2つの染め物が、どんな色に仕上がるのでしょうか？楽しみにとうもろこしがいろいろなものに変身することを知った子どもたち。

「朝ごはんはコーンフレーク食べてきた！」

「ポップコーン、お家で作ったよ！」

と、今では日々の生活の中でも、とうもろこしの話が出てくるようになりました



「やってみたい！」から広がる学び

今回の活動では、図鑑や絵本で知ったことを実際に見たり、触れたり、食べたりしながら、子どもたちの「なぜ?」「やってみたい!」が次の活動へとつながっていきました。

身近なものとの出会いから、考え、試し、発見する。その一つひとつの経験が、子どもたちの学びにつながっています。

これからも、子どもたちの「やってみたい!」を大切に、心が動く体験を積み重ねていきたいと思います。

🌸 今月の目標 🌸

🐯 体を動かす遊びをしながら体力をつけ自信に繋がったり、快適に過ごしたり出来るようにする。

🌊 友だちと生活する中で決まりの大切さに気づき守ろうとする。

🌈 様々な素材や用具を適切に使い、経験したり想像したりしたことを創造的に描いたりつくったりする。

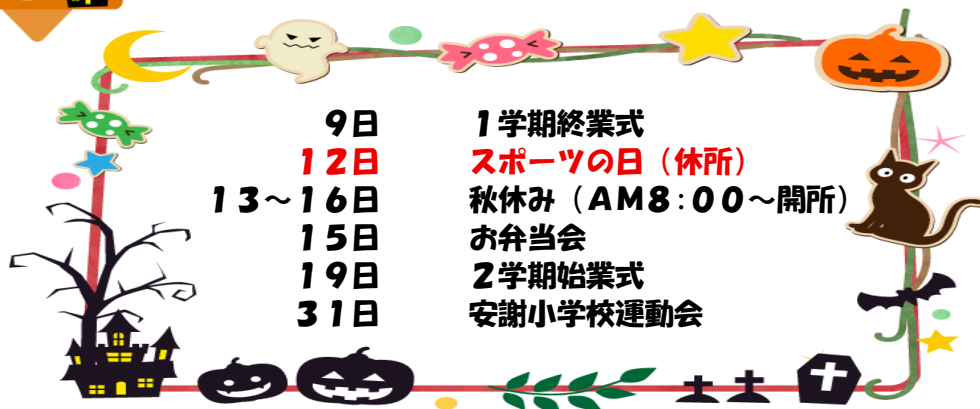
🌸 お願い 🌸

お願い

- 急な雨に備えて、カッパを普段からカバンの中に常備して下さい。
- お家から持ってくる水筒の中は、お水半分、氷なしでご用意をお願いします。入っているお水を飲み干したら、園のルイボスティーを補充します。



風のうた児童クラブたより



9日	1学期終業式
12日	スポーツの日(休所)
13~16日	秋休み(AM8:00~開所)
15日	お弁当会
19日	2学期始業式
31日	安謝小学校運動会



児童クラブでは LaQ 遊びがとても人気です。
小さなパーツをひとつひとつ探し、
組み合わせながら形を作っていく活動は
指先の器用さを育てるだけでなく、
完成までの道のりを楽しむ集中力も養われます。



指先の器用さが繋がっているプラバン作りのご紹介です。
好きなキャラクターの本を見つけてプラバンに写し取り、
色を丁寧に塗り重ねる姿はとても真剣です。
その後、職員と一緒にオーブンで焼き上げるまでの工程を、
子どもたちはさらっとこなしながら楽しんでます😊
仕上がりの大きさや、焼いたあとの色の出方を想像しながら
プラバンの大きさを選ぶ…まるで芸術家のように🎨
完成した作品はキーホルダーにしたり、
家族へのプレゼントにしたりと、
それぞれの楽しみ方が広がっています。

コマ遊びも指先の器用さや集中力が求められる遊びです。
4月のころは、コマに紐を巻くことが難しかった子も、
支援員やお友だちに巻き方を教わりながら
少しずつ上達していきました。
安定して回せるようになると、今度は「こんな技もできるよ」と
新しい技に挑戦する姿も見られ、子どもたちの成長を感じます。



ある土曜保育の日、風のうた保育園の幼児クラスさんが
児童クラブに遊びに来ていました。
コマ遊びをしている幼児さんに、
1年生のKさんが
「キャップを的にしてコマを入れる遊び、やってみる？」と声をかけ、
準備をして挑戦する姿が見られました。
5年生のKさんも「的にしっかり見て投げるといいよ」と
優しくアドバイスしたり、実際に的にに入れて見せたりと、
頼もしいお兄さんの姿が見られました ✨
子ども同士の自然な関わりの中で、遊びが広がり、
学びが生まれる瞬間でした。



児童クラブでは、子どもたちがおやつ準備や片付けを行っています。
その中で、1年生のYさんがテーブルを片付けようとしている様子に、
3年生のRさんが気付きました。
「ちょっと待って！1年生ひとりでテーブル運んで足に落としたら
危ないから、手伝うよ😊」と声をかけ、率先して片付けを進めてくれました。
Rさん自身も1年生の頃、高学年の子に助けてもらった経験があり、
今ではその役割を自然と担う姿が見られます。
思いやりの気持ちが行動に表れた、心温まる場面でした



子どもたちの遊びや生活の中で見せてくれる集中する姿、友だちを思いやる気持ち、
そして自分から手伝おうとする姿はどれも日々の積み重ねによるものです。
『やってみたい』『できた』が広がり、次の挑戦へと繋がっていくよう、
児童クラブでもご家庭でも温かく見守っていければと思います。

